

1	倒用	相下段	裏面（順）
		冠受け、巻落し	股（順）
		下段受け、二歩進む、相中段	前面（順）
		引落し、二歩進む	
素槍による（順）突きの上下の傾きのある全てに、それぞれ対応する稽古			

2	一挽	下段・上段	裏面（逆）
		左凌ぎ	
		左一回転、逆引落し、二歩進む	
素槍による裏面（逆）突きに、上段から対応する稽古			

3	粘華	相下段	裏面（順）
		冠受け、二歩進む	
《倒用》前半の応用型、素槍による裏面（順）突きに、踏み込んで対応する稽古			

4	五個	下段・上段	裏面（逆）
		左凌ぎ、右足踏込み、半回転押え	
		左足踏込み、相中段	裏面（順）
		冠受け、二歩進む	
《一挽》の応用型、素槍による裏面（逆）突きに、踏み込んで対応する稽古 + 《粘華》			

5	半冠	相下段	前面 (順)
		引落し	股 (順)
		下段受け、二歩進む、相中段	裏面 (順)
		冠受け、二歩進む	
素槍による前面 (順) 突きに、下段から引落しで対応する稽古+粘華			

6	十箇	相下段	裏面 (順)
		冠受け、二歩進む	
《粘華》を分解してゆっくりと進める稽古			

7	巻槍	相上段	左廻り裏面 (逆)
		左凌ぎ、右足踏込み、半回転押え	
		左足踏込み、相中段	前面 (順)
		引落し、二歩進む	
左廻しで攻めてくる素槍を左凌ぎする稽古+《粘華》			

8	相位	相下段	裏面 (順)
		冠受け、二歩進む、相中段	裏面 (順)
		冠受け、二歩進む	
《粘華》を2回繰り返す稽古			

9	引落	下段・上段	前面 (順)
		引落し	股 (順)
		下段受け、二歩進む、相中段	前面 (順)
		引落し、二歩進む	
《倒用》の応用型、初手を上段にして、引落しを2回繰り返す稽古			

10	管	相下段から相上段、左手首返し合せ	横手押え（順）
		右足踏込み、押上げ	
		左足踏込み、手首返し	下る
		引落とし、二歩進む	
管槍に対応する稽古			

11	突抜	相下段から鎌槍前面突き	払打ち（順）
		廻し後抜け、裏胴（逆）、直る	
素槍の払打ち（順）に対応、裏胴（逆）を突く稽古			

12	鱗	相下段	前面（順）
		引落とし	落ちず
		右足踏込み、手首返し、跳上げ	
		左足踏込み、引落とし、二歩進む	
引突きする素槍の突き（順）に対応する稽古			

13	合鬨呼	相上段、手首返し左脇構え	前面（順）
		巻落とし、前胴（順）、二歩進む	裏面（順）
		冠受け、二歩進む	
素槍の左脇構えに対応、前胴（順）を突く稽古			

14	遠目	下段・上段	払打ち（順）
		廻し後抜け、振上げ	裏胴（逆）
		打落とし（逆）、二歩進む、裏胴（逆）、直る	
《突抜》の類似型、素槍の払打ち（順）に対応、撃落とし（逆）、裏胴（逆）を突く稽古			

倒用	相下段	腰（順）
	左足引き冠掬い、左足踏出し前捨て	
	被り前囲い、前進	上がる（順）
	打勝つ	
素槍による腰（順）突きへの、下段から冠での対応【二ノ目之勝】		

壱挽	中段頭上がり・上段	腰（順）
	右足踏込み、前被り合い	前被り合い
	左足踏出し、後逆廻し、切捨て	
素槍による腰（順）突きへの、上段から被り合いでの対応【二ノ目之勝】		

拈華	下段右脇構え・下段素槍を後ろに見て掛る	肩（逆）
	冠勝つ（逆打ち）	
素槍による肩（逆）突きへの、下段から冠での対応【裏之勝】		

五箇(1)	相移	中段起し・上段	腰（順）
		右足踏込み、前被り合い	後方突き（順）
		左足踏出し、冠掬い、前進	前直し
		前直し左腕押え	
《壱挽》の応用型、前被り合い時に素槍からの攻撃を受ける（左腕押え）【二ノ目之勝】			

五箇(2)	磯浪	下段・上段	腰（順）
		左足引き逆冠掬い、左足出し前捨て	
		被り前囲い、前進	上がる
		打勝つ	
《倒用》の応用型、鎌槍の上段構えから始める（打勝つ）【二ノ目之勝】			

五箇(3)	浮舟	上段左脇構え・上段顔	顔（順）
		なやし冠、前進	前直し
		前直し左腕押え	
素槍の上段「顔擦掛け」への、「なやし冠」での対応（左腕押え）【二ノ目之勝】			

五箇(4)	打懸	中段頭上がり・冠	
		打掛け	下外し、脇下（順）
		冠掬い、前進	前直し
		前直し左腕押え	

新仕掛《柄返》の前半部、鎌槍の冠構えから打掛け（左腕抑え）【二ノ目之勝】

五箇(5)	違冠	下段右脇構え・上段	逆打払い（逆）
		前抜け、被り前囲い、前進	上がる
		打勝つ	

素槍による「逆打払い」への、「前抜け」での対応（打勝つ）【二ノ目之勝】

十個(2)	浪別	上下段・下段か前囲い	隙なく打つ（順）
		上がる拍子見て、打勝つ	

隙なく打ち上がる素槍を、下段の前囲いから打勝つ対応（必勝）【裏之勝】

十個(1)	思無邪	相下段	肩（順）
		冠掬い、前進	前直し
		左腕押え	

《拈華》で冠勝ちしきれなかった場合への対応・現伝《粘華》に近い【二ノ目之勝】

十個(3)	破車刀	相上段	左回し（逆）
		下段被り合い	上がる
		打勝つ	

左廻しで攻めてくる素槍への対応【二ノ目之勝】

十個(4)	相位	相冠	右脇構えになる
		下段直し	突き出す（逆）
		後冠受け	前直し
		押返し、左腕押え	

相冠から前後の相前構え、押返しの対応【二ノ目之勝】

十個(6)	弁落	下段・上段	前横手（順）
		引落とし、被り前囲い	上がる
		打勝つ	

上段構えで、素槍の下段からの前横手（順）突きへの対応【二ノ目之勝】

十個(5)	着懸	上段・下段	
		前横手にて管槍先へ突上る	尻手すり塩首元まで引詰め
		突上り、右方寄り、塩首押え、前囲い	
管槍への、下段から突上て前を囲う対応【二ノ目之勝】			

十個(7)	猿踊	左脇構え・上段	払打ち（順）
		被り外し後抜け、左腕逆押え	
上段構えで、素槍の左脇構えからの払打ち（順）への対応【裏之勝】近距離			

十個(8)	三先	上段・下段	
		前横手にて突上る	外し下る
		被り下段で打合い	上がる
		打勝つ	
上段構えの素槍への、下段から突上て鱗形になる対応【二ノ目之勝】			

十個(9)	岩砕	左脇構え・上段	払打ち（順）
		相強み、顔順着け、前進	払打ち（順）
		後抜け、左腕突き	
《猿踊》の類似型、素槍の左脇構えからの払打ち（順）へ強む対応【二ノ目之勝】中距離			

十個(10)	燕廻	中段頭上がり・上段	払打ち（順）
		被り外し後抜け	投突き（逆）
		逆打ち	
《猿踊》の類似型、素槍の中段頭上がりからの払打ち（順）への対応【二ノ目之勝】遠距離			

十個(11) 鱗

十個(12) 左右

十個(13) 亂

倒用	相下段	腰（順）
	横手冠掬い、柄沿い擦突き	
素槍による腰（順）突きへの、下段から冠掬い・擦突き【裏之勝】		

壱挽	中段頭上がり・上段	腰（順）
	前被り合い、後逆回し、柄沿い逆擦突き	
素槍による腰（順）突きへの、上段から後逆回し・逆擦突き【裏之勝】		

拈華	下段右脇構え・下段	突出し（逆）
	逆打ち、突き	
表の類似型、逆打ち、突きのバージョン【裏之勝】		

五箇(1)	中段起し・上段	腰（順）
	前被り合い（柔）	前被り合い
	上段直し突き	
《壱挽・裏》の応用型、そのまま突くバージョン【裏之勝】		

五箇(2)	下段・上段	腰（順）
	前被り打合い（強）	前被り合い
	上段直し突き	
《五箇(1)・裏》の類似型、強く打ち合うバージョン【裏之勝】		

五箇(3)	上段左脇構え・上段顔	顔（順）
	半なやし冠	弱む
	擦返し、突き	
表そのまま、擦返し、突くバージョン【裏之勝】		

五箇(4)	中段頭上がり・冠	
	打掛け	下外し
	突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

五箇(5)	下段右脇構え・上段	逆打払い(逆)
	前抜け、突き、上段構え	打払い(順)
	後抜け、柄押え、突き	
表の応用型、突き、逆打払い(逆)に打払い(順)を加えたバージョン【裏之勝】		

十個(2)	上下段・下段	隙なく打つ(順)
	上がる拍子見て、打合せ、柄扱い突き	
表の応用型、打合せ、柄扱い突きのバージョン【裏之勝】		

十個(1)	相下段、素槍を後ろに見て掛る	肩(逆)
	冠掬い、柄扱い擦突き	
《倒用・裏》の同一型、《拈華》の素槍への対応【裏之勝】		

十個(3)	相上段	左回し(逆)
	下る拍子見て、上段突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(4)	相冠	右脇構えになる
	後飛違い、前直し突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(6)	下段・上段	前横手(順)
	引落とし、突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(5)	上段・下段	
	前横手にて管槍先へ突上る	尻手上り塩首元まで引詰め
	直ぐ着て、槍上から突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(7)	左脇構え・上段	払打ち（順）
	先下げ後抜け、突き	
表の応用型、先下げ後抜け、突きのバージョン【裏之勝】		

十個(8)	上段・下段	
	前横手にて突上る	外し下る
	槍上から突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(9)	左脇構え・上段	払打ち（順）
	相強み、柄扱い突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

十個(10)	中段頭上がり・上段	払打ち（順）
	被り外し後抜け、逆押え、柄扱い突き	
表そのまま、突くバージョン【裏之勝】		

槍合(1)	相下段	脇下 (順)
	横手冠掬い、柄沿い擦掛け押え	
《倒用・裏》と同一型、間合いと足運びと押えの表現 【真位之勝】		

槍相(2)	中段・上段	腰 (順)
	前被り合い、後逆廻し、柄沿い逆擦掛け押え	
《沓挽・裏》と同一型、間合いと足運びと押えの表現 【真位之勝】		

槍相(3)	下段・上段	打出し (順)
	前被り合い	上がる
	打勝つ	
《真位・槍相(2)》の応用型、上がる素槍に打勝つバージョン 【真位之勝】		